

共に考える社会のかたち Vol.1

THE ONES LEFT BEHIND

The Plight of Single Mothers in Japan

取り残された人々：

日本におけるシングルマザーの苦境

ドキュメンタリー映画上映&トーク



ゲストスピーカー

ライオン・マカヴォイ監督

ドキュメンタリー映画を観賞し、製作をされた監督のお話と参加者同士での感想の分かち合い、Q&Aセッションなどを予定しています。

日時

6月7日 (土)

14:00(開場13:30)

17:30 ~ 終了予定

会場

ウェスレーセンター101

〒107-0062

港区南青山6-10-11

ウェスレーセンター1階

参加費・お申し込み

参加費無料

40名様限定

お申し込みはこちら⇒

<https://wesley.or.jp/>



問合せ先

公益財団法人ウェスレー財団

〒107-0062 港区南青山6-10-11

ウェスレーセンター301

program@wesley.or.jp

ライオン・マカヴォイ監督について

ライオン・マカヴォイ監督は、オーストラリア出身の映画監督で、プロレスと並行して、東京都にてジャパンメディアサービス株式会社を設立しました。彼の作品は、日本の社会問題、特に弱者層に焦点を当てたものが多く、広く知られています。「The Ones Left Behind」シリーズを手がけ、社会的意識と変革を促す映画を制作しています。

監督からのメッセージ：

日本には、外部の人間には理解しにくい社会的な側面が存在する。それは、日本人自身にも明確に見えているとは限らない。表面的には美しさ、穏やかさ、そして秩序が保たれているが、その裏には深い沈黙が横たわっている。

日本では日常が目まぐるしく進んでいる。電車は途切れることなく走り、ネオンの光は絶え間なく街を彩り、生活は加速度的に進行しているように見える。しかし、すべての人がそのペースについていけるわけではない。

このような社会的な課題を抱えながら、先進国として高い機能を維持する日本。この現実を放置することが果たして許されるのだろうか。今こそ、企業や団体、個人が立ち上がり、責任を持つべき時です。変革に貢献し、隠れた問題に光を当て、誰もが取り残されない社会を作り上げる時が来ました。

スケジュール予定

14:00 開演

ドキュメンタリー映画鑑賞（78分）

監督トーク

グループトーク

Q&Aセッション

17:30 終了

